

智の集積

-水辺の郊外型ワークプレイス-

都市デザイン研究室 CY15015 加藤義公

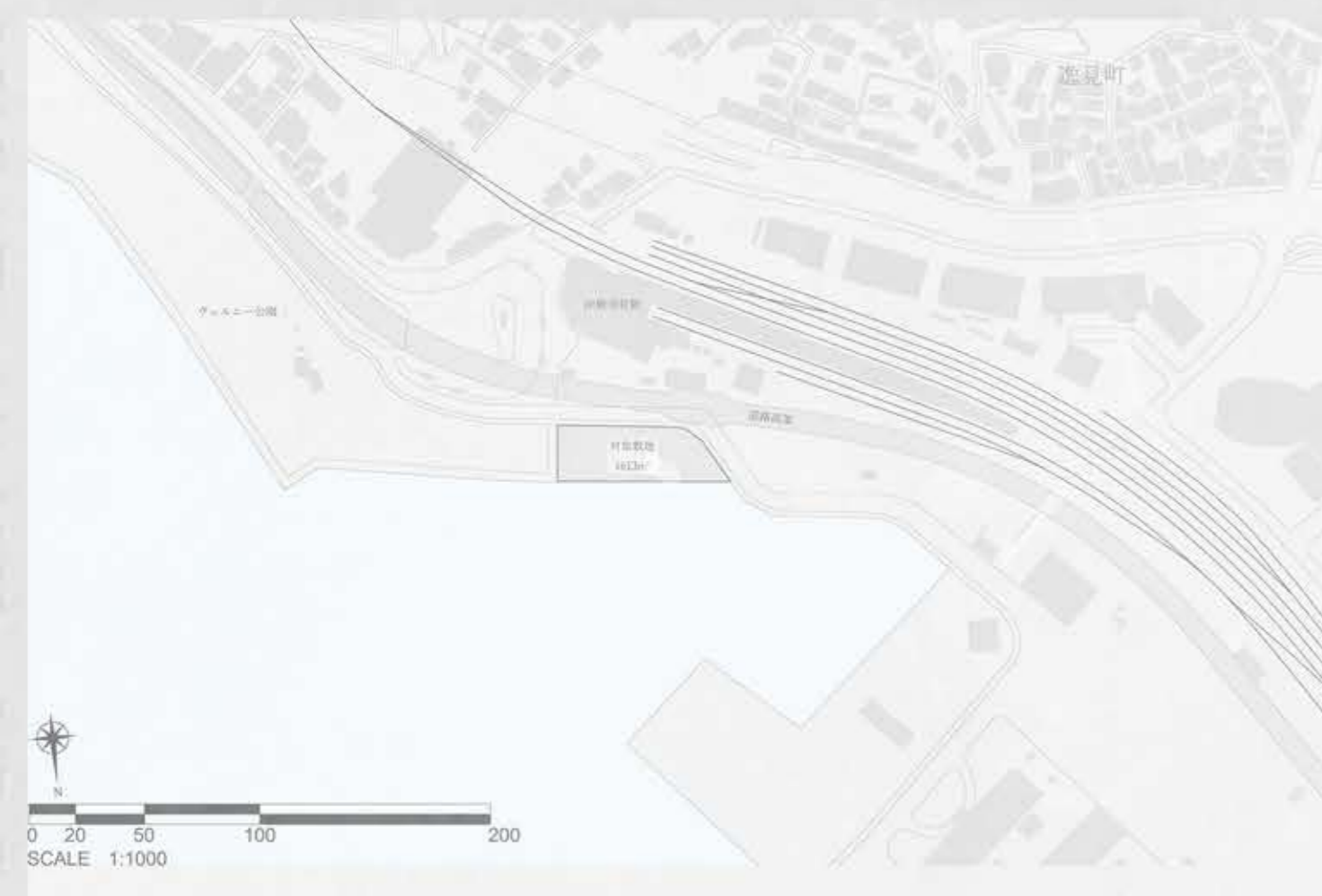
主査 前田英寿 副査 桑田仁

Introduction

モバイル PC、スマートフォンなど、モバイルメディアの発展・普及によってモビリティ(移動可能性)が、高まり、テレワーク、リモートワーク、コワーキングなど必ずしもオフィスに規定されない柔軟なワークスタイルが可能となった。そして、そういった新しい働き方は、東京一極集中による地方都市の衰退を是正する鍵となる。今設計では、大都市部従属型ベッドタウン、いわゆる郊外都市である神奈川県横須賀市に於いて、企業家・職場を持たないノマドワーカー・サテライトオフィスが設置可能な企業に勤めている就業者達をターゲットに、それらの人々が働きやすい環境をサポートするワークプレイスを提案する。

Site

今回設計対象とした場所は、JR横須賀駅付近の空き地、および一部公共施設のある敷地である。前方には軍港が広がり、後方には道路高架が建つ。敷地東側にはフランス庭園を模した臨海公園が隣接しており、市の観光地となっている。それらの周辺状況や既存の施設などを考慮しつつ、都市計画における規制に則り設計を行う。



Concept

企業家や職場を持たないノマドワーカー、サテライトオフィスをもつ企業に勤めている就業者を対象に、JR横須賀駅前に様々な業種が混在するワークプレイスを計画することで、横須賀市内への就業者世代の定住(1ターン・Uターン)を図る。大小幅広い空間を有することで、ワーカーのニーズに柔軟に対応する。また、海辺で公演が隣接しているため、豊かな自然を施設内に取り入れる。

用途

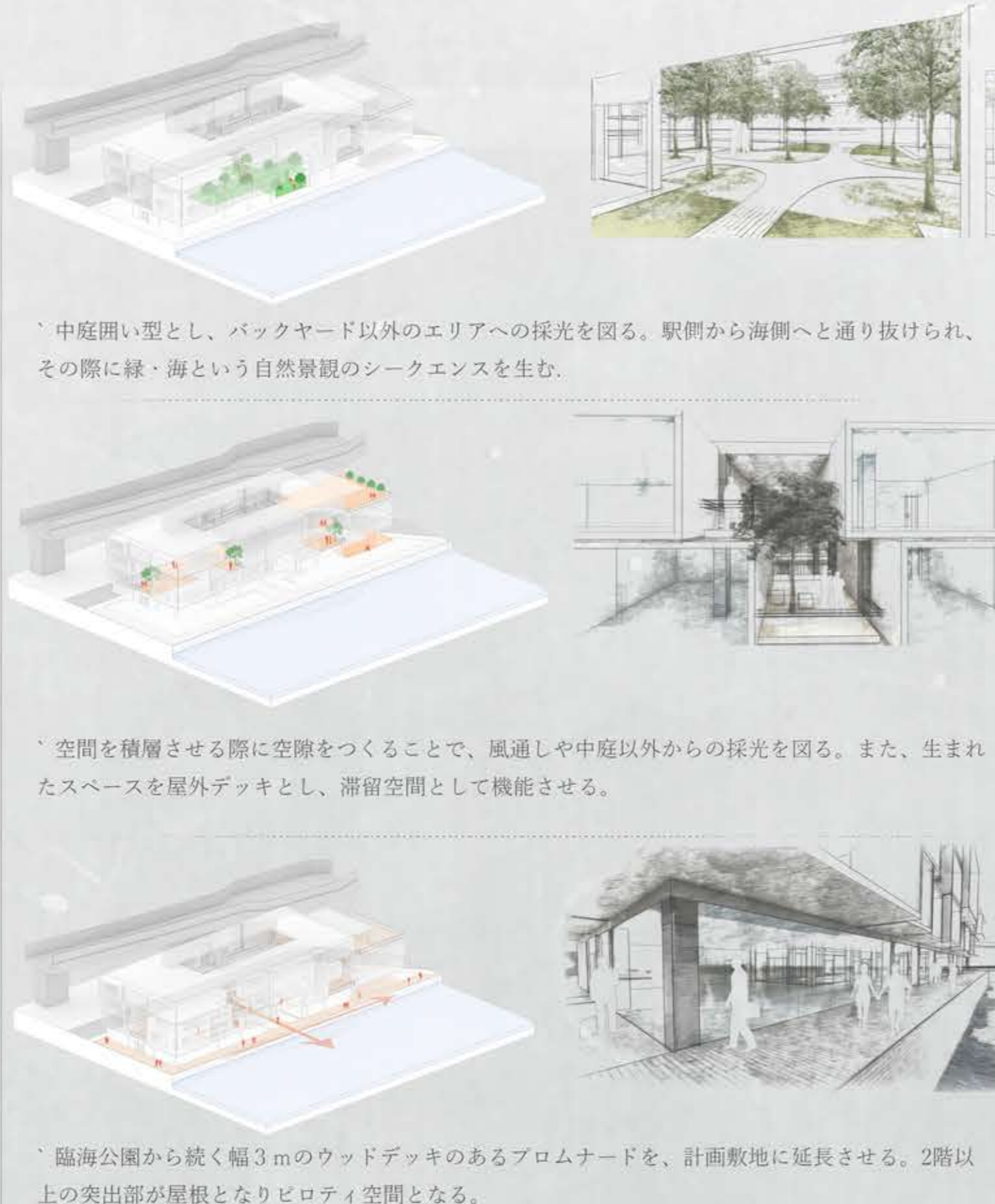
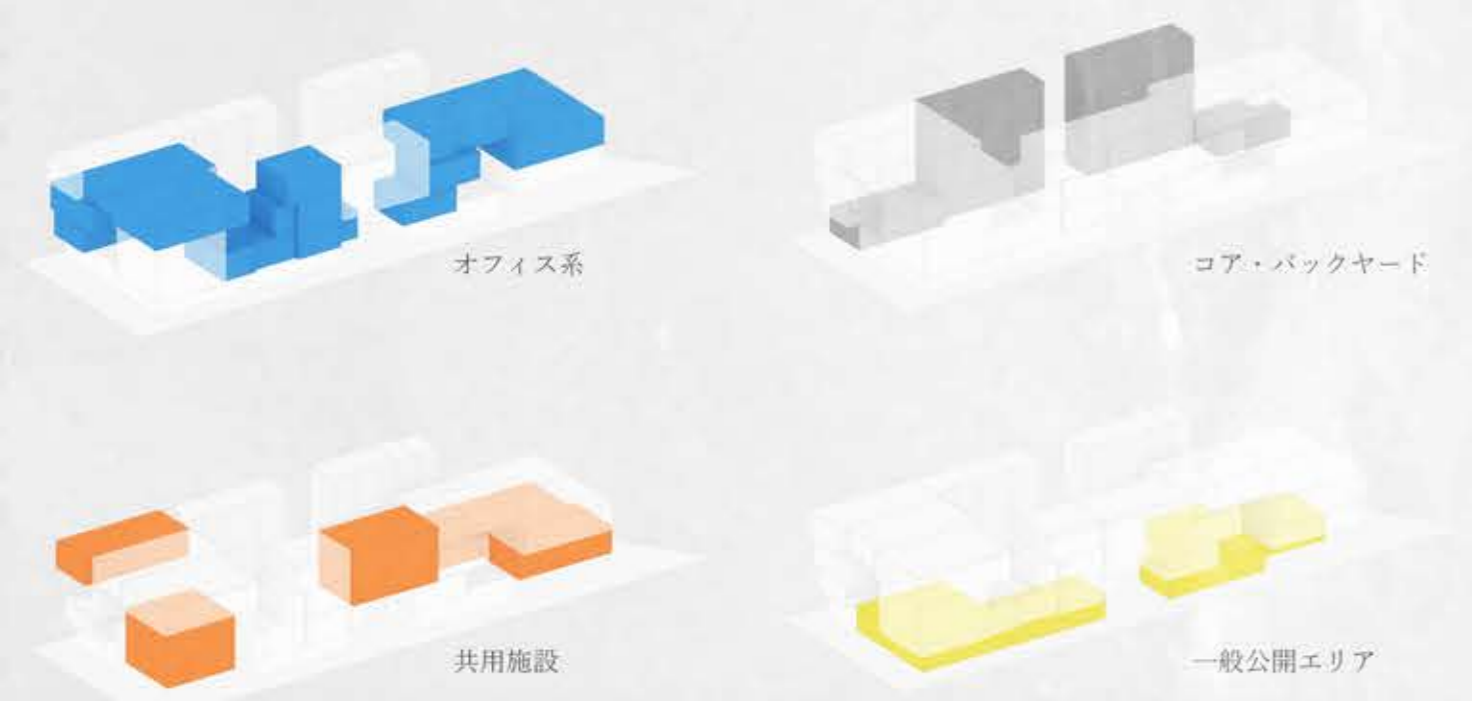
- | | | | |
|---|-------------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|
| オフィス系 | 共用施設 | 一般利用エリア | バックヤード・コア |
| ・テナントオフィス
・シェアオフィス
・コワーキングスペース
・貸会議室 | ・シェアキッチン
・食堂
・ライブラリー
・ラウンジ | ・ギャラリー(既存の施設)
・カフェ
・店舗 | ・事務スペース
・機械室
・EV・階段室
・厨房 |

基本コンセプト

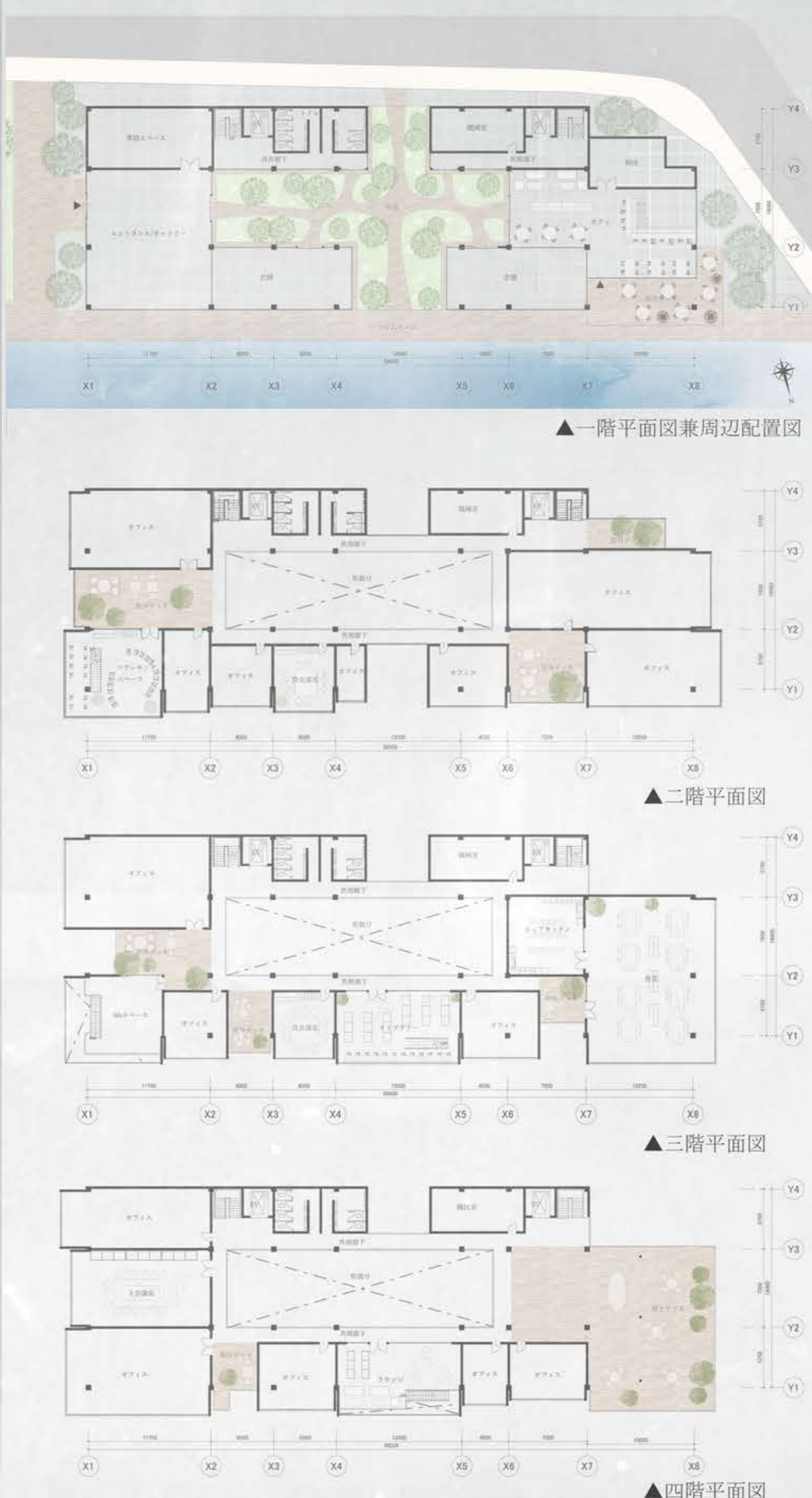
集... 様々な業種の人たちが集い、多様なアクティビティが同時多発的に起こる場となる。
積... それらのアクティビティを行う空間が積層し、形を成す。

ゾーニング

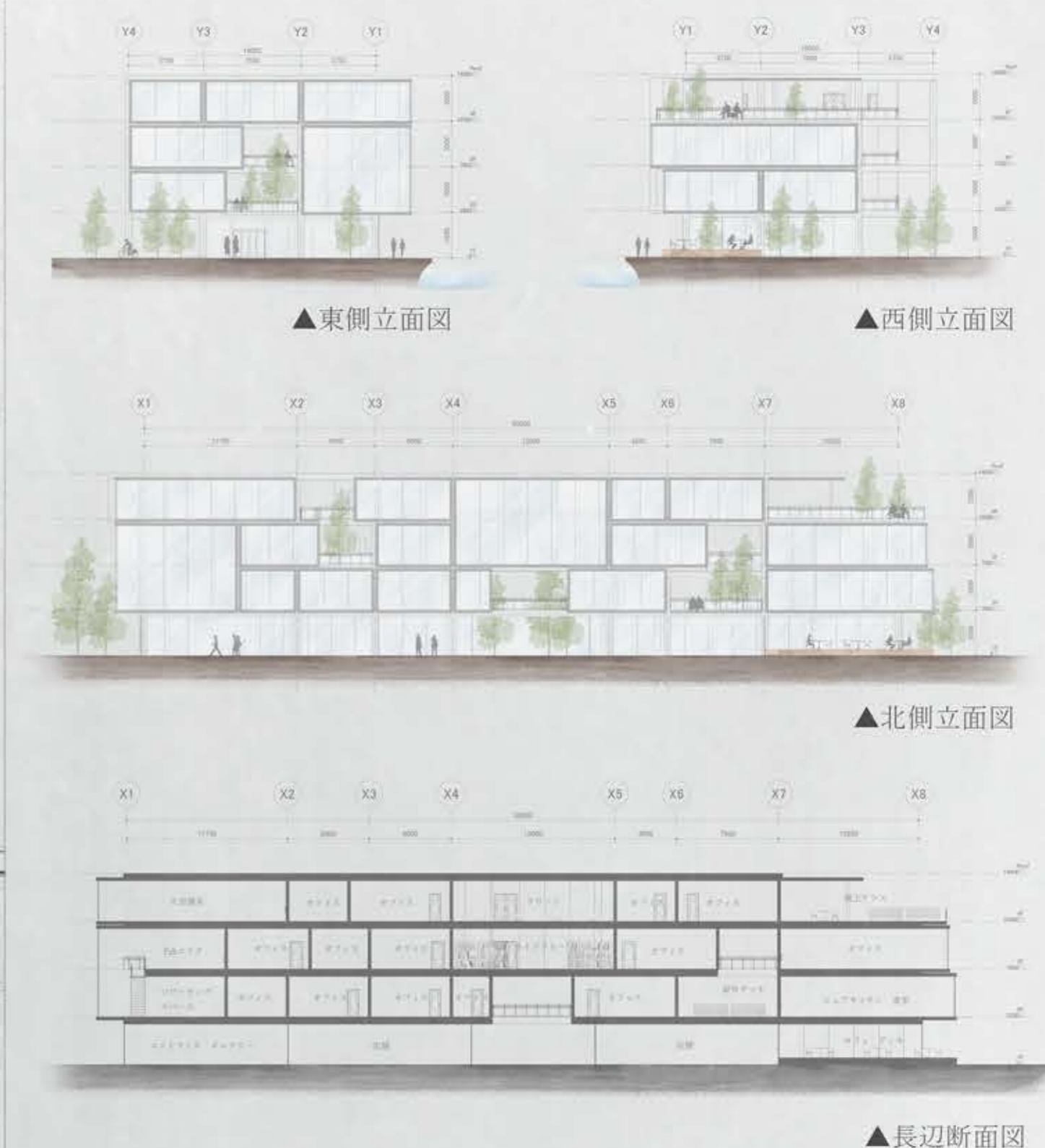
グランドレベルの用途は、既存の施設であるギャラリーの機能を含め、店舗・カフェなど、通行人や一般の人が利用できるようにする。2階以上はオフィス系スペースをメインとし、その中に共用施設を点在させることで、異業種間のコミュニケーションを誘発する。コアやバックヤードは比較的環境の悪い高架側へ集める。



Floor Plan S=1/400



Section/Elevation S=1/400



Perspective



Model

